

令和5年度 折本小学校 横浜市学力学習状況調査の分析

【国語】(2年～6年)

「知識・技能」と「思考・判断・表現」共にほとんどの学年で横浜市の平均を上回っていた。

「学習意識」も多くの学年で横浜市の平均を上回っていた。

【算数】(2年～6年)

「思考・判断・表現」はほとんどの学年で横浜市の平均以上であったが、「知識・技能」は横浜市の平均を少し下回る学年が3学年あった。

「学習意識」は多くの学年で横浜市の平均を上回っていた。

【社会】(4年～6年)

「知識・技能」はおおむね横浜市の平均以上であったが、「思考・判断・表現」は全の学年で横浜市の平均を下回った。

「学習意識」はおおむね横浜市の平均以上であった。

【理科】(4～6年)

「知識・技能」と「思考・判断・表現」共に全ての学年で平均以下であった。

「学習意識」は横浜市の平均を上回る学年は1学年であった。

【その他の教科に関する学習意識】

「体育」「外国語」「家庭科」に関する学習意識は、多くの学年で横浜市の平均以上だった。

「音楽」「図工」に関する学習意識は、横浜市の平均を下回る学年が多かった。

【生活意識調査】

「知的謙虚さ」「メタ認知」「共感性」に関してはほとんどの学年で横浜市の平均以上だった。特に「共感性」に関しては、ほとんどの学年で横浜市の平均をかなり上回った。

「好奇心」「自己意識」共に多くの学年で上回った。

「校外生活」「学校生活」はほとんどの学年で横浜市の平均以下だった。

↓

本校児童は、物事に興味・関心をもって自分から進んで取り組む力があり、自分の学習状況を把握してそれを踏まえて行動を調整する力もある。また、自分の意見に謙虚な姿勢をもって意見を柔軟に変更する力もある。

さらに、困っている人に共感したり、助けてあげたりする思いやりがあるだけでなく、自分自身を好きだと思える心も育っている。

校外生活については、地域や社会への関心があり、地域の行事には参加しているが、朝ごはんや家庭での学習・読書など基本的な家庭生活に関しては横浜市の平均を下回っている学年が多い。

学校生活についても、地域や社会とのよりよいかかわりを目指して学習している傾向が高い。また、タブレットやパソコンを使ってインターネットマナーなどで情報収集をする力も高い。そして、収集した情報を必要に応じて選択したり、それを基に話し合ったりして、自分の考えを広げたり深める力も高い。さらに、進んで学習に取り組み、学習したことを普段の生活の中で生かそうとしている。一方で、じっくり考えて判断したり考えを相手に分かるように伝えたりすることは苦手としている。